

地方開発促進計画の概要

種別	東北開発促進計画（第五次）	北陸地方開発促進計画（第四次）	中国地方開発促進計画（第四次）	四国地方開発促進計画（第五次）	九州地方開発促進計画（第五次）
根拠法	東北開発促進法 （昭和32年5月17日法律第110号 最終改正/平成11年12月）	北陸地方開発促進法 （昭和35年12月27日法律第171号 最終改正/平成11年12月）	中国地方開発促進法 （昭和35年12月27日法律第172号 最終改正/平成11年12月）	四国地方開発促進法 （昭和35年4月28日法律第63号 最終改正/平成11年12月）	九州地方開発促進法 （昭和34年3月30日法律第60号 最終改正/平成11年12月）
策定期	平成11年3月	平成11年3月	平成11年3月	平成11年3月	平成11年3月
目標年次	おおむね平成22～27年	おおむね平成22～27年	おおむね平成22～27年	おおむね平成22～27年	おおむね平成22～27年
対象地域	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県、新潟県	富山県、石川県、福井県	鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、鹿児島県
副題	21世紀を先導する 自然共存型社会をめざして	日本海国土軸の形成を先導する北陸	多軸・分散型発展を先導する中国	本四3架橋時代の新四国創造	アジアと一体化して発展する 個性ある九州
基本理念等	<p>・21世紀の日本における多軸型国土構造の形成を先導する自然共存型フロンティアとして東北を整備し</p> <p>・「多彩なライフスタイルの展開が可能で暮らしやすく活力のある東北」の形成を基本目標とします。</p> <p>北東国土軸及び日本海国土軸の形成を長期的に展望しつつ、都市機能や産業の集積、南北及び東西方向に展開する高速交通体系から構成されるラグド（格子）型地域構造の形成を進めます。</p>	<p>・コンパクトな地域の中に都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な北陸</p> <p>・活力があり、また環日本海交流を先導する正解に開かれた北陸</p> <p>を目指します。</p> <p>北陸の個性とポテンシャルを發揮し、多様な連携・交流を展開することによって、日本海国土軸の形成を先導する圏域として、多軸型国土構造の形成に寄与する役割を担います。</p>	<p>・魅力ある大小様々な都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な中国</p> <p>・活力があり、また世界に開かれ、貢献・交流する中国</p> <p>を目指します。</p> <p>中国の個性とポテンシャルを發揮し、多様な地域が連携・交流する多軸・分散ネットワーク型発展により、多軸型国土構造の形成を先導し、長期的に日本海国土軸、西日本国土軸の形成の一翼を担います。</p>	<p>・都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な四国</p> <p>・活力があり、またアジア・太平洋地域をはじめ世界に開かれた四国</p> <p>を目指します。</p> <p>本四3架橋時代の到来と四国の個性とポテンシャルを生かし、域内外にわたる連携・交流を通じ、四国の自立を促進するとともに、歴史・風土に根ざした多様性に富んだ美しい庭園の島、四国を形成し、太平洋新国土軸の基礎を構築します。</p>	<p>・相当規模の都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な九州</p> <p>・活力があり、またアジアと一体化して発展する九州</p> <p>を目指します。</p> <p>九州の強い個性とポテンシャルを發揮し、多様な地域が連携・交流することを通じて長期的に、九州を覆う太平洋新国土軸や日本海国土軸、西日本国土軸の西の結節点となり、自然、歴史、文化、技術が融合する美しいガーデンアイランドを形成します。</p>
基本方針・重要課題等	<p>・ゆとりある暮らしの中で、自然の恵み、都市的サービスを楽しむ東北</p> <p>・世界と人々やもの、情報、文化が交流する開かれた東北</p> <p>・魅力ある職場が存在し、産業に活力のある東北</p> <p>の実現を目指します。</p>	<p>・都市の連なりと3大都市圏への近接性を生かし連携・交流する北陸を創造</p> <p>・優れた住環境の下で、自然に恵まれた文化の香り高い生活圏を創造</p> <p>・小さな世界企業等個性的な北陸産業の形成を促進</p> <p>・環日本海交流を先導し、新たな国際交流を展開する北陸</p> <p>の実現を目指します。</p>	<p>・都市の分散型分布を生かし、域外にも開かれ、連携・交流する中国を創造</p> <p>・多様な主体の参加と連携により、多自然居住地域の創造を先導</p> <p>・産業技術集積を生かし、創造的な産業社会への転換を促進</p> <p>・世界に貢献し、交流する中国</p> <p>の実現を目指します。</p>	<p>・本四3架橋時代の到来を生かし、域内外にわたって広域的に連携・交流する四国を創造</p> <p>・自然、歴史、文化とともに、高齢者も安心して暮らしが味わえる生活圏を創造</p> <p>・特色ある創造的な企業群の形成による産業構造の高度化を促進</p> <p>・アジア・太平洋地域と交流する四国</p> <p>の実現を目指します。</p>	<p>・相当規模の都市と豊かな自然が織りなす多様な地域が連携・交流する九州を創造</p> <p>・自然と共に安全で安心して暮らせ、誇りが持てる生活圏を創造</p> <p>・知識集約化に向けて産業の高度化を促進</p> <p>・歴史的・文化的繋がりも生かし、アジアとの一体的発展に向けた国際交流を先導する九州</p> <p>の実現を目指します。</p>